

長澤 克重教授 略歴と業績

I. 略 歴

1958年9月	愛知県に生まれる
1982年3月	京都大学文学部哲学科社会学専攻卒業
1985年3月	京都大学大学院経済学研究科博士課程前期課程修了
1988年3月	京都大学大学院経済学研究科博士課程後期課程学修
1989年4月	立命館大学産業社会学部助教授
1993年9月～1994年3月	ローマ大学客員研究員
2003年4月	立命館大学産業社会学部教授
2024年3月	立命館大学定年退職
2024年4月	立命館大学名誉教授

(主な学内役職歴)

1993年4月～1994年3月	産業社会学部学生主事
2003年4月～2004年3月	教養教育センター員
2004年4月～2005年3月	調査委員長
2005年4月～2006年3月	大学院部副部長
2006年4月～2008年3月	教学部副部長
2010年4月～2012年3月	大学協議員
2011年4月～2013年3月	産業社会学部副学部長
2015年4月～2017年3月	大学協議員
2017年4月～2020年3月	学生サポートルーム室長
2017年4月～2020年3月	学生部長
2017年4月～2020年3月	障害学生支援室室長

II. 専門分野

専門分野	理論経済学，経済統計学，社会学（含社会福祉関係），統計学，大学教育，産業連関分析，情報経済，産業構造，情報経済，電子商取引
担当科目	社会統計学
学 位	経済学修士（京都大学，1985年3月）
研究課題	産業連関分析による日本経済の構造に関する研究、情報経済の研究、統計教育の方法に関する研究
所属学会	経済統計学会，日本統計学会，情報通信学会，環太平洋産業連関分析学会，大学教育学会

Ⅲ. 主な研究業績

著 書

主な著書

1. (共著)『自立と協同の経済システム』(大月書店, 1991年4月) 77-90頁
2. (共著)『統計ガイドブック 社会・経済』(大月書店, 1992年9月)
3. (共著)『経済統計学の現代化』(晃洋書房, 1995年6月) 91-107頁
4. (共著)『統計ガイドブック 社会・経済 [第2版]』(大月書店, 1998年3月) 246-261, 264-266頁
5. (共著)『メディア社会の歩き方』(世界思想社, 2004年5月) 233-251頁
6. (共著)『インターネット時代の経済・ビジネス』(税務経理協会, 2005年10月) 233-254頁
7. (共著)『よくわかる統計学 II 経済統計編』(ミネルヴァ書房, 2007年10月) 28-37, 104-113頁
8. (共著)『よくわかる統計学 I 基礎編』(ミネルヴァ書房, 2007年10月) 34-43, 114-135頁
9. (共編者)『18・19世紀の人口変動と地域・村・家族—歴史人口学の課題と方法—』(古今書院, 2008年3月) 177-195頁
10. (共著)『よくわかる統計学 II 経済統計編 [第2版]』(ミネルヴァ書房, 2011年9月) 28-35, 104-105, 110-113頁
11. (共著)『よくわかる統計学 I 基礎編 [第2版]』(ミネルヴァ書房, 2011年10月) 34-43, 116-121, 126-129, 134-139頁
12. (共著)『メディア・リテラシーの諸相 —表象・システム・ジャーナリズム—』(ミネルヴァ書房, 2016年3月) 85-105頁
13. (共著)『はじめてのメディア研究 [第2版]』(世界思想社, 2021年2月) 266-267頁

論 文

1. (共著)「情報経済論の検討」(阪南大学情報処理研究センター『情報科学研究』(2), 1988年) 65-78頁
2. (単著)「ターンパイクモデルの初期調整プロセス」(京都大学経済学会『経済論叢』142 (2-3), 1988年9月) 237-257頁
3. (単著)「因子分析による投入産出構造変動の分析」(経済統計学会『統計学』(55), 1988年9月) 52-63頁
4. (単著)「ソフト化・サービス化経済の産業連関分析」(『立命館産業社会論集』第26巻第1号, 1990年6月) 91-112頁
5. (単著)「大学生の生活・勉学の実態 —立命館大学教育学部アンケート調査の分析—」(『立命館教育科学研究』(2), 1992年3月) 23-46頁
6. (単著)「投下労働計算からみた経済のソフト化 —直接投下労働の職業別分割による試算—」(『立命館産業社会論集』第28巻第3号, 1992年12月) 39-58頁
7. (単著)「産業構造の変化と統計」(経済統計学会『統計学』(69・70), 1996年) 235-242頁
8. (単著)「学生の「学び」の構造と意識 —3年生に関する調査データから—」(『立命館教育科学研究』(12), 1998年6月) 67-81頁
9. (単著)「電子商取引に関する統計整備の動向 —OECDにおける議論を中心に—」(『立命館産業社

会論集』第38巻第2号, 2002年9月) 19-39頁

10. (単著)「19世紀初期の庶民の生命表—狐禅寺村の人口・民政資料による」(『立命館大学人文科学研究所紀要』(87), 2006年3月) 215-226頁
11. (単著)「産業・職業分類の変容」(経済統計学会『統計学』(90), 2006年6月) 78-87頁
12. (単著)「全労働生産性と全要素生産性からみたIT化の経済効果」(『立命館産業社会論集』第45巻第3号, 2009年12月) 1-16頁
13. (単著)「文化産業分析のための統計的枠組み —2009 UNESCO FCS の構造と課題—」(『立命館産業社会論集』第50巻第2号, 2014年9月) 1-13頁
14. (単著)「学習者支援の自己評価 —R2030に向けたピア・サポートと全学協議会—」(『立命館高等教育研究』(20), 2020年3月) 49-57頁
15. (共著)「アマゾンのパラドクス: 経営戦略と反トラスト法」(『立命館経営学』60巻6号, 2022年3月) 53-86頁
16. (単著)「企業消費者間電子商取引に関する日本の公的統計の課題」(『立命館産業社会論集』第58巻第1号, 2022年6月) 69-84頁
17. (単著)「AIによる雇用喪失・創出に関わる諸要因の検討」(『立命館経営学』62巻6号, 2024年3月) 1-21頁

Ⅳ. 社会における活動

2010年4月～2013年9月	経済統計学会理事
2013年10月～2016年9月	経済統計学会常任理事
2017年4月～2020年3月	日本私立大学連盟学生委員会委員
2017年6月～2017年12月	近畿北陸学生ヨット連盟会長
2017年6月～2017年12月	全日本学生ヨット連盟副会長
2022年4月～	経済統計学会理事

以上

